

報道関係各位

2016年4月8日
ホテル椿山荘東京

**ご存知?! 東京の蛍は5月から! 2016年4月7日、蛍の幼虫の上陸を目視で確認。
今年も 5月中旬に、東京の真ん中で蛍が飛翔予定!
季節のお食事と蛍観賞を楽しむ贅沢なひととき、「ほたるの夕べ」を開催**

ホテル椿山荘東京（東京都文京区・総支配人：本村 哲）では、
蛍の飛翔前の行動としての「上陸」を、昨年4月7日に目視で確認
できました。今年も5月中旬頃から、蛍の美しい飛翔を皆様にお楽
しみいただける予定です。

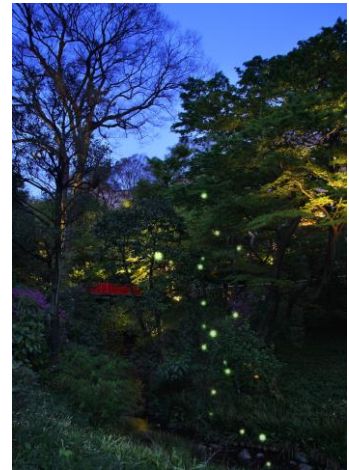
なお、幼虫が陸に上がってから初飛翔までの日数は、日々の気温が
関係しているのではないかというミステリアスな仮説があり、ホテル
椿山荘東京では、2016年もこの仮説を検証する観測を行います。

夏に飛ぶイメージの蛍ですが、東京では初夏の風物詩として、毎
年5月中旬から6月末頃にかけて蛍の飛翔が観測できます。「500度
説」(※)を参考に蛍の見頃は是非お出かけください。

積算温度は、ホテルのホームページやSNSで随時更新してまいり
ます。

■URL

<http://hotel-chinzanso-tokyo.jp/event/news/1757036c6a6c97d.html>



(※) 蛍初飛翔までの仮説「500度説」を検証中

蛍の初飛翔について2010年から「500度説」という仮説を検証する観測を行って
います。ゲンジボタルの幼虫は水生で、当ホテルで幼虫が陸に上がるのは、桜（ソメイヨシノ）が散る時期
の4月の雨の夜が多いです。その翌日から「1日の平均気温」を積算（加算）していき、500度
に達した時に、蛍の初飛翔が観測できるという説です。なお検証を始めた2010年から2012年ま
では、ほぼ「500度説」通りに初飛翔が観測。しかし、2013年は温度計の故障により欠測。2014
年は前日積算温度が521度になった5月18日に初飛翔を観測し概ね実証成功。2015年は626度
になった5月16日に初飛翔を観測し、大きく500度を外す結果となりました。果たして、500
度説の真偽はいかに。引き続き、2016年も検証を行います。

5/20~6/30 「ほたるの夕べ」を開催 ディナーbuffetやレストラン、ステイでも蛍を満喫

宵闇に舞う蛍の光。蛍観賞の前にお楽しみいただく、華やかなお食事やトリートメントプラン
をご用意いたしました。海的高级食材「鮑」や好評の「ローストビーフ」を主役にした「ほたる
の夕べ ディナーbuffet」や、シェフが蛍の情景を表現したレストランメニュー、求愛のため
に光る蛍にちなんだカップルトリートメントプラン、特別に閉園後の静けさを取り戻した庭園で
蛍を愛でただける「アクアガーデンホテルステイ」、大人の夜を演出する「ほたるとスタン
ダードジャズを楽しむ夕べ」など、この季節限定のプランを各種ご用意いたしております。

本件に関するお問い合わせ先

藤田観光株式会社 ホテル椿山荘東京 マーケティング課 担当：眞田・内田
TEL. 03-3943-5506 (直通) FAX. 03-3943-1172 Email: pressroom@hotel-chinzanso.com